

令和元年度 第1回

久留米市男女共同参画社会づくり表彰

団体

久留米市消防団 有馬火消しはしご隊

活動内容

久留米市消防出初式、水の祭典久留米まつり及び各種防災イベント等で、多くの市民にはしご乗りの演技を披露して、地域防災意識の普及・啓発に取り組んでいます。

受賞の理由

- ・性別に関わらず隊員を募集するとともに、女性の活躍する機会が提供されている。
- ・女性の参画や活躍する姿を広くPRすることで、固定的性別役割分担意識の払拭に繋がっている。
- ・性別に関わらない隊の活動は、女性消防団員のロールモデルとなるとともに人材発掘や女性のエンパワーメントとなり、地域防災力の向上に繋がることが期待できる。

はしご隊の活動に性別は関係ない

久留米市消防団「有馬火消しはしご隊」は、昭和51年の結成以来、有馬火消しの歴史と伝統を引き継いだ消防の心意気を示しています。現在は、防災意識の向上や消防団の周知、団員の募集等を目的として40年以上にわたり各種イベントへ参加して演技を披露しています。

「消防団やはしご隊は、男性だけの分野と思われがちですが、そうではありません。性別に関係なく広く人材を募り、女性も活躍してもらっています。」とはしご隊の合戸隊長は話してくれました。

実際に消防団は平成6年から女性団員が活躍しており、現在久留米市消防団における女性団員の割合は8.7%（平成30年4月1日現在）と筑後地区の消防団の中で最も高く、福岡県内でも高い水準です。

はしご隊も、久留米市消防団員であれば、住んでいる地域や性別に関係なく隊員が加入しています。実際に今まで6人の女性隊員が在籍していました。人数は決して多くはありませんが、女性も男性と同じように演技を披露することで、「消防団は性別に関わらず男女ともに活躍できる場」であることを多くの市民に知らせ、固定的性別役割意識の払拭が図られています。また、はしご隊の女性隊員は、女性消防団員のロールモデルとなり、女性団員の加入促進も期待されます。

「将来は、はしご隊の女性隊員を増やして、現在3本で演技しているはしごを5本に増やしたいですね。」と、合戸隊長は夢を語ってくれました。



有馬火消しはしご隊の皆さん。前列中央は合戸隊長、後列右から2番目は飯田さん



皆で演技準備を行います

演技をする飯田さん。はしごの高さは8mにもなります

自分が演技することで女性隊員を増やしたい

「入隊した当初は、『男性の隊員と違って、自分だけ上手く演技ができないんじゃないか』と不安でした。しかし、演技を重ねることで、他の男性隊員と一緒に成長することができました。」と話すのは、現在はしご隊に所属する唯一の女性である飯田記子さんです。

元々高いところが苦手な飯田さん。力技では男性との差を感じることはあるものの、得意な演技は皆異なります。自分がやれることをやるとの気持ちで、先輩の指導を受けながら経験を重ねた結果、他の隊員とともに演技を行うことができるようになりました。今は、演技を披露した時の観衆の拍手に喜びを感じるそうです。

飯田さんの今の目標は、48ある火消しの演技を全てマスターすることと、女性のはしご隊の隊員を増やすことです。「自分が演技することで、一緒に活躍できるはしご隊の女性隊員が増えてくれればと思います。」



飯田さん